

香川の  
土地改良

みどり  
水土ネット香川

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



稲刈り後の風景（高松市東植田町）

目次

1. 第 37 回全国土地改良大会山梨大会 .....2~3
2. 平成 26 年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催 .....4
3. ため池の維持管理を万全に .....5
4. この道一筋 秋の叙勲／限りある水を大切に！ .....6
5. 土地改良区だより 坂出市府中町土地改良区 .....7
6. お知らせ／会と催し .....8

# 第 37 回全国土地改良大会山梨大会

## かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良



去る 10 月 30 日、山梨県甲府市の山梨県立産業展示交流館「アイメッセ山梨」において、第 37 回全国土地改良大会が開催された。

この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、「農業・農村の重要性」と、それを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールするとともに、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、関係者が総力をあげて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されている。今年も、昨年の 6 月に世界遺産に登録された富士の国やまなしで「かけがえのない農業を次世代へ 水土里育む土地改良」をテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約 3,600 名が参加した。

大会式典は、開催地である水土里ネット山梨の白倉政司会長の開会挨拶で始まり、主催者を代表して全国水土里ネットの野中広務会長から挨拶があり、横内正明山梨県知事、棚本邦由山梨県議会議員から歓迎の挨拶、さらに小泉昭男農林水産副大臣から祝辞が述べられた。

その後、土地改理事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 15 名、全国土地改理事業団体連合会長表彰 45 名が表彰された。本県からは、香川町南部土地改良区理事長の山田文雄氏が全国土地改理事業団体連合会長表彰を受賞された。



全国土地改理事業団体連合会長表彰  
香川町南部土地改良区  
理事長 山田 文雄氏

基調講演では、小林祐一農林水産省農村振興局次長から東日本大震災からの復旧・復興、農業農村整備事業の展開方向、農政改革と土地改良区～1つの基本と3つの期待～について説明があった。

つづいて、基調報告（東日本大震災復旧・復興状況）は、水土里ネット岩手、水土里ネット宮城、水土里ネット福島から、山梨県内土地改良事業優良事例地区紹介は笛吹川沿岸土地改良区、明野茅ヶ岳土地改良区から説明があった。

また、大会宣言が山梨県立農業大学校養成科2年の石原晃平さんと窪田千香さんによって、「水土里育む土地改良」を合い言葉に、富士の国やまなしから高らかに宣言された。

大会に続き、10月31日～11月1日には、大会参加者らが6コースに分かれて山梨県の農業農村整備事業を視察した。

## 大会宣言

豊かな水と緑、日照時間に恵まれた、ここ山梨は、本州のほぼ中央に位置し、首都圏にありながら、周囲を世界文化遺産の富士山をはじめ、八ヶ岳、南アルプスといった名峰に囲まれています。

本県においては、県土の約8割を森林が占め、農地の約3分の2が中山間地域であるという不利な条件にもかかわらず、先人達による水利開発や農地整備とともに、農業者のたゆまぬ努力と工夫・経験に裏打ちされた高度な生産技術により、狭い農地でも高収入が得られる生産性の高い農業が展開されています。全国的に農業所得の向上が喫緊の課題とされる中で、本県の10a当たりの生産農業所得は、全国でも常に上位に位置しており、特にぶどう、もも、すももの生産量は全国一を誇り、「果物王国やまなし」としての地位を築いています。

しかしながら、近年、農業・農村を取り巻く状況は、国際的な農産物流通の自由化や消費者ニーズの多様化など、大きく変化しており、農業の担い手不足や耕作放棄地の増加、農村地域の高齢化など、多くの課題を抱えています。

一方、農業は、気象状況に大きく左右される産業であり、近年の異常気象の影響もあり、災害が頻発化する傾向で、一度の災害で収穫が皆無という甚大な被害を受けることも稀ではありません。本県では、今年2月、過去に経験したことのない県内観測史上最大の大雪により、ビニールハウスなどの農業施設は壊滅的な被害を受けました。現在学んでいる農業大学校においても、野菜のハウスが倒壊してしまい、自然災害の恐ろしさを目の当たりにしたところです。

こうした中、政府は昨年12月、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を決定し、本年6月に同プランを改訂しました。このプランでは、農業を足腰の強い産業としていくための産業政策と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域政策を車の両輪として推進することとし、農地中間管理機構制度や日本型直接支払制度などの4つの改革に関係者が一体となって取り組み、若者たちが希望を持てる「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創り上げていくこととしています。

農業を魅力ある産業にするため、私たちは、「我が国における食料の自給率向上と安定供給の確保」、「農業・農村の多面的機能の発揮」、「農業の持続的発展」、「農村の振興」などの必要性・重要性について、これまで以上に国民的理解の醸成を図っていくとともに、今こそ「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールしていく必要があります。

また、国土強靱化基本計画に基づく生産基盤等の整備や農村の地域資源を有効に活用した太陽光・小水力発電などの再生可能エネルギーの普及を着実にを行うことにより、地域の災害対応力の強化や地域資源の適切な保管理を図り、災害に強く環境に優しい農業・農村を目指すことが、更なる農業・農村の発展と「水土里ネット」の躍進へと繋がるのではないのでしょうか。

農業・農村が健全であってこそ、豊かな国土や自然環境が維持されると思います。

本日、ここに集う私たちをはじめとする「水土里ネット」の人々は、先人達から受け継がれてきた、かけがえのない農業・農村を次世代へ引き継いでいくことを、「水土里育む土地改良」を合い言葉に、ここ「富士の国やまなし」から高らかに宣言します。

平成26年10月30日

第37回全国土地改良大会(山梨大会)

## 平成 26 年度 香川県水土里情報利活用促進協議会総会開催

去る 10 月 7 日、丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)において、県、市町、土地改良区、県農業協同組合、県農業会議、農業委員会、県農業共済組合、県農地機構など会員 53 団体、67 名の出席のもと、平成 26 年度香川県水土里情報利活用促進協議会総会が開催された。

総会は、山地協議会長(香川県土地改良事業団体連合会常務理事)の開会挨拶の後、来賓の中国四国農政局整備部地域整備課田中課長、香川県農政水産部農村整備課木村課長補佐から挨拶を頂いた。

引き続き、議事が行なわれ、上程された次の 4 議案が原案のとおり承認された。

第 1 号議案	香川県水土里情報利活用促進協議会規約の一部改正について
第 2 号議案	役員を選任について
第 3 号議案	平成 25 年度事業報告について
第 4 号議案	平成 26 年度事業計画について

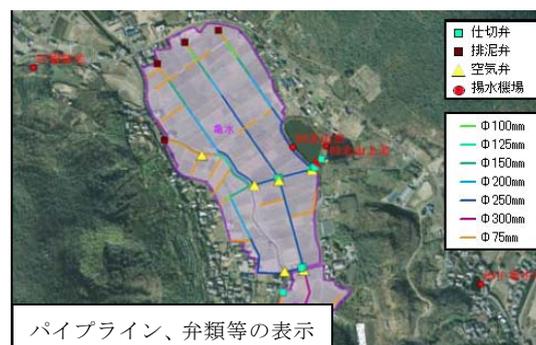
また、筆図、農業振興地域図、オルソ画像等の最新データの提供について事務局よりお願いがあった。最後に、高松市下笠居土地改良区川西理事長ほか 2 名の方から、下記の水土里情報システムを活用した事例発表があり盛会裡に閉会した。

### ①「水土里情報の活用について」

高松市下笠居土地改良区 理事長 川西恭裕

#### ◇活用事例

- ・水土里情報の農地筆図と、土地改良区の土地(農地)台帳を地番で結合し、地図上に組合員名等を表示する「土地台帳」の作成
- ・パイプライン、弁類などを作図し、名称や規格等の情報を付加した「施設台帳」の作成



### ②「香川県内場池土地改良区データの GIS 化について」

香川県内場池土地改良区 事務局長 渡辺広二

#### ◇活用事例

- ・水土里情報システムを活用した「用水系統図」の作成
- ・幹線水路、井堰・出水などを作図し、施設名称や延長などの情報を付加した「施設台帳」の作成



### ③「多面的機能支払現地確認図面作成に係る水土里情報システムの活用について」

香川県土地改良事業団体連合会 事業課 石田 一

#### ◇図面作成に係る作業内容

- ・水土里情報の農地筆図と市町から提出されたデータとの突合及び精査(地目・面積等の確認)
- ・開水路・パイプライン・農道・ため池などを作図し、施設名称や延長などの情報を付加した「台帳」の整備
- ・成果品(紙面、電子データを格納した CD)の形式



## ため池の維持管理を万全に

「ため池」は、農業用水源のみならず、水辺空間として「憩いの場」などの多様な役割を果たしています。そのようなため池が万一決壊した場合は、農業関係だけでなく、道路や公民館など下流地域の公共施設に大きな被害をもたらすことも予想されます。このため、「池干し」を実施し、通常確認ができない堤防や樋管頭首部等を点検し、ため池の管理に万全の備えをして下さい。

### 1. 日常の管理が大切

ため池を管理されている方は、普段から草刈りなど次のようなことに気をつけて、常にため池を見回り欠陥箇所の早期発見に努めて下さい。

### 2. ため池災害の主な原因

ため池の災害は、堤防の決壊、堤防法面の崩れや陥没、樋管の破損、洪水吐の洗掘崩壊などがあります。このうち、最も多い災害が堤防法面の崩れです。

災害の発生した、ため池を調べると、普段の維持管理が不十分で、堤防に雑草やかん木が生え危険箇所が発見できなかった池が殆どです。

皆さんが管理しているため池は大丈夫ですか。草木がたくさん生え、悪い箇所が分からない状況になっていませんか。もう一度点検・確認を行ってください。

### 3. 危険箇所発見後の処理

ため池の異常箇所を発見した場合には、直ちに市町役場、県土地改良事務所(小豆総合事務所土地改良課)に連絡し、原因の究明と応急処置の指導を受け、災害を未然に防止しましょう。

### 4. 危険ため池の整備

ため池の改修・補強工事は、国や県などの助成が受けられ、残りの費用については長期の低利資金を借りることができます。危険なため池は早めに改修するよう心がけましょう。

#### 点検のポイント

- ・法面・腰ブロック(石積)・地山との境界などからの漏水はないか
- ・堤防に亀裂・陥没・法ずれなどはないか
- ・堤防が、道路などに利用されている場合、フェンスなどの安全施設に問題はないか
- ・洪水吐に流木や枯葉等が堆積していないか。
- ・樋管の破損又は樋管周囲からの漏水・陥没はないか
- ・ゲートなどの機械類は腐食していないか、又、巻揚機はスムーズに動くか
- ・操作小屋などの管理施設に異常はないか 等



堤防が草で見えない



洪水吐が草で覆われている



洪水吐に枯葉等が堆積している

## この道一筋 秋の叙勲

11 月 3 日、2014 年秋の叙勲受章者が発表された。

土地改良関係者では、坂出市府中町土地改良区理事長である平田正行氏が土地改良事業功勞として旭日単光章を受章された。

氏は、長年にわたり土地改良区の総代を務め、平成元年に理事、その後、監事を歴任され、平成 17 年 8 月に理事長に就任以来、土地改良区の円滑で堅実な運営に尽力されている。社会情勢が大きく変化するなか、効率的な農業の展開による地域農業の振興のため、平成 17 年度から 24 年度にかけて 23 地区のため池や水路などの改修工事に取り組み、土地改良施設の整備に貢献された。

また、平成 8 年に坂出市農業委員会委員に就任され、担い手の後継者不足や高齢化の進むなか、農地の有効利用を図るとともに、耕作放棄地対策を積極的に進め、遊休農地の解消にも尽力されるなど農業振興に力を注いでいる。

今後とも土地改良事業を中心に魅力と活気に満ちた地域発展のためにご尽力いただけるよう、お元気で活躍されることをご祈念申し上げます。



坂出市府中町土地改良区  
理事長 平田 正幸氏

## 限りある水を大切に！ 出前授業とクリーンアップ大作戦

水土里ネット香川用水は、21 世紀土地改良区創造運動の一環として、幹線水路の施設点検整備のために通水を停止するこの時期に、県内の小学校において出前授業と清掃活動を実施している。

10 月 24 日、木田郡三木町立氷上小学校では 4 年生の児童 75 人を対象に、水資源機構香川用水管理所と合同で香川用水の役割や重要性、水の大切さについて授業を行った。



その後、小学校近くの香川用水の幹線水路に移動し、普段は立ち入ることのできない水路に入り、施設の見学や枯葉やゴミなどを拾う清掃活動に参加し、生活に欠かせない水の大切さを学んだ。

なお、水土里ネット香川用水では、管理課の職員が交代で教壇に立ち、今年は 21 校で出前授業を実施した。



## ～土地改良区だより～

### 坂出市府中町土地改良区（坂出市）

坂出市府中町土地改良区は、昭和 24 年の土地改良法の制定を受け、昭和 28 年 5 月に設立された。

当土地改良区は、香川県のほぼ中央、坂出市の南部に位置し、崇徳上皇の聖跡をはじめ、王朝時代の国司廳跡や官公署の遺跡、城山城跡など、多くの史跡に富み、その昔、讃岐の中心地であったことが偲ばれる。

管内は、中山間に位置し、狭小な段々ほ地を有する降雨の少ない地域であることから、現在、四手池

(50 万 m<sup>3</sup>) を筆頭に大小 228 箇所のため池が 179ha の水田を潤している。このうち、平成 3 年度の団体営ため池等整備事業によるキトラ下池をはじめ、平成 23～24 年度には県営事業で上所池(前谷地区)、さらに平成 2 年度から 6 年度にかけて、四国横断自動車道関連事業でもって 23 箇所のため池の改修が行なわれた。一方、ほ場整備などの農業生産基盤の整備については、昭和 59 年度から平成 3 年度に実施した団体営ほ場整備事業横山地区 24.4ha をはじめ、新農業構造改善事業(地区再編)で 17.7ha、四国横断自動車道の関連事業として 22ha 余のほ場整備や農道・水路の整備に取り組み、温州みかんや特産野菜の振興に努めてきた。

また、管内の農業は、稲作栽培を中心として、果樹や野菜を組み合わせた複合経営が行なわれており、近年、アスパラガスやブロッコリーなどの野菜に加え、裸麦の栽培面積の拡大にも取り組んでいる。しかしながら、農業者の高齢化や後継者不足等に伴い、農地の維持管理が困難な状況にあるなど、厳しい農業情勢ではあるが、平成 18 年に農事組合法人(さぬき府中)を設立して農地の集約化を図るなど、担い手育成等による地域農業の振興のため、理事長を中心に役職員が一致団結して、各種の農業生産基盤の整備はもとより、ため池や用水路などの農業水利施設の計画的な保全や維持管理等に積極的に取り組んでいる。

なお、管内には、県内唯一の工業用水専用ダムである府中湖が築造され、カヌーの全国大会も開催される立派な施設も整備されていることから、「水のフェスティバル in 府中湖」などの大会の開催に当たり、水の大切さ、有効利用について広く啓発を行なうとともに、府中町の活性化と魅力あふれるまちづくりにも努めている。



四手池



府中湖



平田正幸理事長(右)と事務局職員

#### 土地改良区の概要

所在地	坂出市府中町 1170 番地 JA 香川旧府中支店内 2 階事務所
設立年月日等	昭和 28 年 5 月 1 日 香川県第 132 号
関係市町	坂出市
管内農地面積	277ha (田 179ha、畑 98ha)
組合員数	612 人 (総代 50 人)
役職員数	理事 12 人、監事 4 人、職員 1 人

## お知らせ

### 平成 26 年度小水力等発電導入技術向上地方研修会

農業水利施設を活用した小水力等発電に係る、土地改良区等の技術力向上のための研修会を下記により開催します。

#### 記

1. 日 時 平成 26 年 12 月 12 日（金）9：50～
2. 場 所 高松市上福岡町 2-2-1  
ホテルパールガーデン 1階「玉藻」

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
10 月 8 日	高松市東南部地域土地改良区統合整備（合同事務所設置）推進第 4 回打合せ	高松市
10 日	さぬき市土地改良区統合整備検討会	さぬき市
〃	三豊地区土地改良協議会役員会	観音寺市
16 日	2014 ため池フォーラム i n ご縁の国しまね	島根県
20 日	高松市東南部地域土地改良区統合整備推進検討会設立（第 1 回）会議	高松市
〃	中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	徳島市
20 日 ～21 日	平成 26 年度小水力等発電導入技術力向上中央研修（第 3 回）	東京都
20 日 ～24 日	実践技術研修ストックマネジメントコース（第 2 回）	岡山市
22 日	香川県農業会議常任会議員会議	高松市
23 日	土地改良施設の整備補修事例検討会	鳥取県
29 日 ～31 日	第 37 回全国土地改良大会（山梨大会）	山梨県
30 日	都道府県土地改良事業団体連合会長等会議	山梨県
11 月 5 日	農業農村工学会第 69 回中国四国支部講演会及び支部表彰式	鳥取県
10 日	高松市東南部地域土地改良区統合整備推進検討会第 1 回担当者会議	高松市